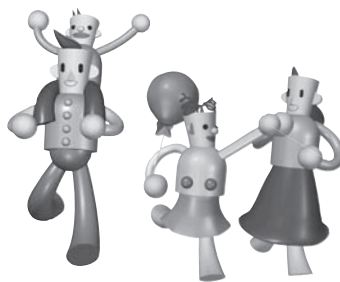


隣保館だより

編集 下榎隣保館 〒689-4526 日野町下榎157番地1
電話：72-1191 (FAX 兼)
E-mail：rinpokan@town.hino.tottori.jp



平成23年度 榎の実学習会 開講式

5月12日、下榎集会所で小学校・中学校合同の「榎の実学習会」開講式が行われました。

開講式には、小学生12人、中学生12人と小中学校の先生方、下榎支部長、保護者、教育委員会と隣保館の職員が出席し、児童生徒へ激励の言葉を贈りました。

児童生徒の代表が、休まずに学習会に参加することなど、1年間の目標を発表しました。

★地域学習（小学生学習会）

6月7日、地域の大人から学ぼうと、交流会を兼ねてサツマイモの苗を植えました。地域の人から畑の提供を受け、老人会の指導で一人3本の苗を丁寧に植えました。「土が汚い」と言う子もいましたが、秋の収穫祭を楽しみに会話も弾みました。

★仲間づくり（中学生学習会）

今年の中学生学習会は、「自分たちでつくりあげること」を目標にしました。

6月2日の学習会では、新1年生4人を迎え、1年間に3回の予定の交流学習を、それぞれの学年が順番に責任者となり進めていく計画を立てました。

隣保館が行う地域学習では地域の方との交流をはじめ、山本教育長、川上館長、其山先生の話も計

『部落解放月間』

県では、毎年7月10日から8月9日までを「部落解放月間」とし、みんなが同和問題を正しく理解し、認識を深めていただくよう啓発活動を行っています。

日野町では、啓発パネルの展示と人権尊重標語の掲示を行います。



大きくなあれ、サツマイモ。秋の収穫が楽しみです

画しています。多くの人の関わりの中で、人を大切にできる心、いじめや差別を見抜く力を養い、学習した事がひとつでも自分のものとなっていくことを期待します。

下榎隣保館・集会所運営審議会及び町人権センター運営審議会を開きました。

5月27日、下榎集会所で第1回運営審議会を開きました。運営審議会委員は両審議会兼任で委員は次の皆さんです。(敬称略)

会長：西村 通 職務代理：田口郁江
委員：稲田正純、唐来秀夫、福間晃、長谷川真由美、鳥居良光、田子功司、森田勝彦、青砥昭雄

《任期：23年4月1日から2年間》

23年度の事業について審議し、人権や福祉などの各組織間の連携を重点課題として話し合いました。

【集会参加報告】

『部落解放第56回全国女性集会』に参加して 小山 満

5月21日、22日、香川県丸亀市で、第56回全国女性集会が開かれました。31都府県から1,151人の参加があり、まず東日本大震災の犠牲者に対して黙とうしました。

開会式には、石川一雄さん、早智子さん夫妻も出席され、ユーモアを交えながらのあいさつの後、狭山事件第三次再審実現にむけた強い意志を訴えられまし

た。分科会では、教育現場における同和地区に対する差別や、障がい児を持つ母親の活動報告をうけて活発な意見が出ました。中でも18歳の女の子が「部落に生まれて良かった。差別をうけたからこそ人の痛みが分かる。その経験を原動力として活動していく！」との言葉が心に残りました。

この世に差別されていい人など一人もいません。部落差別撤廃運動を通じて、あらゆる差別に目を向け、身近な問題から一人一人の人権を大切に考えていく必要があると再確認した研修でした。

7月の学習講座予定 ◆セラバンド体操

日時：7月13日（水）午前10時～
場所：下榎老人憩の家
講師：高橋伸也さん（野田）

◆生け花（草月流）

日時：7月23日（土）
午後1時30分～
場所：下榎集会所
講師：生田清子さん（黒坂）

※材料代、参加申込みなど詳しくは、下榎隣保館（電話72-1191）まで。

町人権・同和教育推進協議会総会を開催しました

4月28日、山村開発センターで自治会長さん、町内の組織・団体などの代表者で構成する会員58人が出席し、2011年度総会を開きました。

東日本大震災で犠牲になられた人のご冥福と、一日も早い復興を祈って出席者全員で黙とうの後、景山享弘町長が、「災害に強い安心安全な人権と福祉のまちづくりを、小地域座談会でみんなで話し合い、町民皆さんの絆で築いていきましょう」とあいさつし、議事の審議、承認を行いました。



総会には多くの出席者がある

決算、事業計画、予算案を承認

主な内容は次のとおりです。

【事業報告】

- ▶小地域座談会推進者養成講座の開催、4日間で延べ46人参加
- ▶町人権啓発及び第35回人権同和教育研究集会は10月26日開催、209人参加
- ▶小地域座談会は、過去最多の39自治会で開催、364人が参加
- ▶町民人権講座は5回開催、351人が参加
- ▶鳥取県研究集会や全国大会等への参加、広報紙の毎月発行など

【決算】

- ▶収入総額400,076円（町補助金400,000円他）
- ▶支出総額393,871円（総会費5,431円、部会の研修費35,900円、町人権・同和教育研究集会の開催、県研究集会や全国大会参加費307,410円、事務費その他45,130円）

【事業計画】

- ◆テーマ：人権尊重のまちづくりをしよう
- ◆スローガン：『さまざまな地域課題から、人権尊重社会の仕組みを考えよう』～助け上手、助けられ上手～
- ◆活動の基本：人権と福祉

【重点施策】

- ①人権・同和教育研究集会の開催
- ②小地域座談会の全自治会開催及び推進者の養成
- ③部会研修の充実（企業、団体、組織）
- ④交流事業の実施

【予算】

- ◆収入総額406,300円（町補助金他）
- ◆支出総額406,300円（総会役員会費7,000円、部会費60,000円、啓発研修費290,000円、事務費他49,300円）

新役員 決定

【会長】

景山享弘（町長）

【副会長】

佐々木秀明（町議会議長）

西村 通（部落解放同盟下榎支部長）

【監事】

山川洋介（民生児童委員）

長谷川百子（町農業委員）

【部会役員】

▶行政部会

部会長：森田勝彦（民生児童委員）

副部会長：藤井路久（日野総合事務所長）

▶地域社会部会

部会長：青砥昭雄（町社会福祉協議会長）

副部会長：三好康之（町身体障害者協議会長）

▶企業部会

部会長：加藤和臣（JA日野町支所長）

副部会長：河上貞也（鳥取日野森林組合長）

▶保学部会

部会長：古都好治（黒坂小学校長）

副部会長：西村和宏

（ひのっこ保育所保護者会長）

▶広報部会

部会長：長谷川真由美（ひのっこ保育所長）

副部会長：遠藤公俊（町教育委員）



講師の内海敏さん

第1回町民人権講座を開催

総会に引き続き、第1回町民人権講座を開きました。

「人権と福祉」と題し、県社会福祉協議会会長の内海敏さんが、人権と福祉が、いかにまちづくりにとつて大切かを話しました。

講演の中で内海さんは、「30年前は6000人いた日野町の人口も、今は3700人。過疎高齢化はこれから進む。助けられ上手は助けてほしいと言わないといけないが、言えないのが今の人のよう。繰り返しの人権教育で、お互いが支えあえるまちづくりをしてほしい」と今後のまちづくりについて助言しました。参加者は、これからの人権教育の大切さを考えることができました。